

# 報 もりよし

発行所 森吉町役場  
編集 企画室  
印刷所 米内沢 中央印刷所  
発行部数 3,500部  
1部 5円

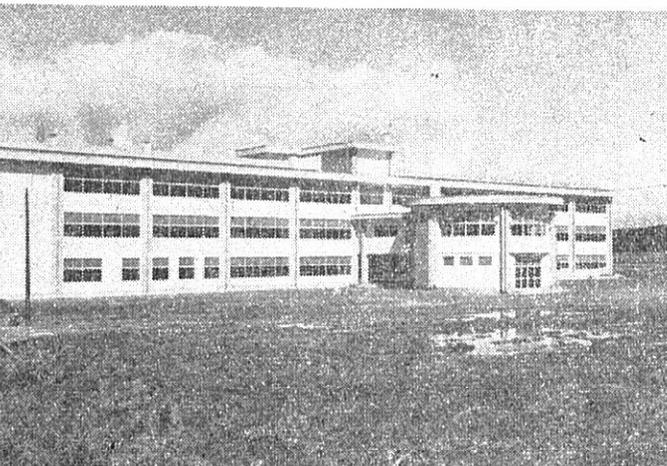
## 米内沢小第二期工事完成

### 新校舎で授業開始

一般校舎が完成した米内沢小学校は、十月五日から新校舎で授業を開始する。この校舎には、普及教室、特別教室四、職員室、会議室、放送室、観望室、三〇平方メートルの一般校舎で、

### 気力充実して 学習に精進

新校舎の完成を、いまや遅しと待っていた児童も、完成と同時に引越を開始、三日にすべての準備を完了して、授業をはじめましたが、すべてが新しいものづくめで、うれしさを



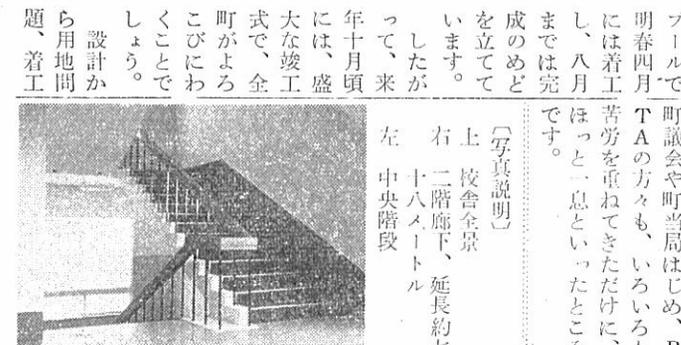
### 来年度には竣工式

あと残った才三期工事は、まさに大変な事業です。町議会や町当局はじめ、PTAの方々も、いろいろと苦勞を重ねてきただけに、八月ほっと一息といったところまでです。

## 長寿を祝つて四八八名に

### 記念品を贈呈

今年の敬老会は、九月十八日、女三〇四名で、昨七日に前田小学校で行なわれ、男は一人減り、女は八七才三名、八六才三名、一五名ふえています。



〔写真説明〕  
上 校舎全景  
右 二階廊下、延長約七十八メートル  
左 中央階段

## 交通事故激増に積極策

### このままではふえるだけ

交通安全運動は、国の重要施策として全国的に推進されておりますが、秋田県における交通事故は年々増加の一途をたどり、去る十月十五日に死亡者一〇五名となり、ついに昨年同期を上廻るにいたりしました。

### 重点目標

- ◎歩行者および自転車の安全な通行
- ◎通園通学および踏切における安全確保
- ◎自動車および二輪車の安全な運行
- ◎適正な運行管理と安全運転管理
- ◎道路交通環境の整備改善



交通「一一〇番」制で事故の絶滅へ  
秋田県では、交通事故に対する非常事態宣言をして

## 高令者に写真を贈る

米内沢の娯楽写真館

今年の敬老会にあたり、写真家の御所野洋三さんが当日の出席者全員に対して一人一つの写真を寄贈しました。みなさん大変よろこばれておられます。

## 献血事業の成果

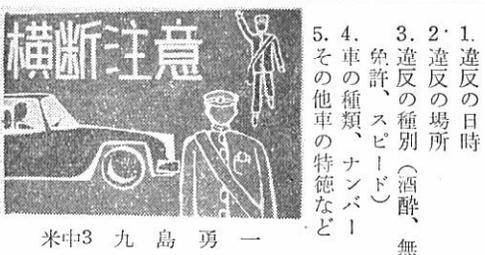
### 増大

時期的にも大変忙しかつたが、今回の献血は午前中から米内沢高等学校を会場とし、多数献血に御協力下さり深く感謝いたします。

年	総人口	献血者数	割合
35年	二五、四六八	三、七三〇	一四・六%
40年	二八、八八八	四、八八八	一六・九%
42年	三〇、八八八	五、八八八	一九・七%

おります。無法運転者を、みんなの目で監視し、正しい運転をせよと、正しく警察に通報してもらおう制度を実施します。

1. 違反の日時
2. 違反の場所
3. 違反の種類(酒酔、無免許、スピード)
4. 車の種類、ナンバー
5. その他車の特徳など



### 米内沢橋の魚釣りは危険

車の増加のため、米内沢橋では、車の交差も困難になっております。町や交通安全協会では、国と県にお願いして、片側に歩道橋をたしてもらうことになりました。



### 川向区画整理 事業着工

本町農業構造改善事業として進められている、米内沢川向地区の区画整理事業は、去る九月十九日入札を終り、施行は大館市、佐藤建設が、一、八八〇万円で行なうことになりました。

### 戦没者叙位叙勲を伝達

昭和四十二年四月から、六月までの戦没者叙位叙勲伝達式が、二十七日役場で行なわれ、

- | 氏名       | 叙位  | 叙勲   |
|----------|-----|------|
| 藤島組 一    | 一   | 一    |
| 清防 一     | 一   | 一    |
| その他一般    | 三七  | 二七   |
| 米内沢高小一五七 | 一三一 | 一三一  |
| 計        | 二四五 | 二〇一名 |

### 集会、約束の時間、約束の場所

守りましょう

### 長野岱遺跡調査 報告書発行

縄文時代前期(約五千年前)の遺跡といわれる長野岱遺跡(宮林町宮畑布地内)の発掘調査が、去る六月十一日終了し、専門学者によって整理説明が続けられていたが、このほど完了し、その資料が報告書として刊行されます。

親と子が語りあう家みんなで築こう

(青少年を立派に育てる運動)

議 会 だ よ り

昭和四十二年 九月二十六日 森吉町役場会議室に於て森吉町々議会が第四回定例会を開催、左記議案審議の結果原案どおり可決された。

請願については、それぞれ常任委員会に付託されました。

◎一般会計、特別会計計総額四一、〇七千円の追加。

◎災害に際し、応急措置の業務に従事した者に係る損害補償に関する条例。

◎前田、米内沢両財産区造林及び分収に関する条例。

◎森吉町国民健康保険条例の一部改正(国保運営委員の定数を三名減員)。

◎森吉町監査委員の選任について(金逸郎氏選任)。

◎議会常任委員の選任替(○委員長△副委員長)。

一、総務委員会

○春日一嘉 △佐藤富郎 奥田 信明、板垣 清 佐藤新太郎、北林 照助

一、文教社会委員会

○榎井正七△春日 多助 鈴木鉄之助、加賀 勝雄 松淵 光一、羽場 盛一

一、建設委員会

○三浦富三郎△奥田逸郎 赤石 元治、金 仁一郎 春日 直松、高嶋 昭二

一、産業経済委員会

○石川作治△神成 長 金 兵一郎、九島 利吉 庄司徳太郎、伊藤小四郎

一、議会運営委員会

○奥田信明△石川 作治 佐藤 富郎、春日 直松 奥田 逸郎

◎請願

11、夏期見舞金支給について(北秋中央病院) 文教

12、森林組合へ二〇万円の助成金の交付について(森林組合) 産経

13、長期入院患者に生活補助金の支給について(秋田県患者協議会) 文教

14、観光開発及び産業開発推進について(農業委員) 産経

15、北方領土の早期日本復帰実現について(北海道根室市、根室市議会) 文教

16、学校医(眼科)の待遇について(秋田県眼科医師会) 文教

17、在日朝鮮公民の帰国協定の延長について(朝鮮総聯) 文教

18、公民館支那分館建設について(支那地区) 文教

19、米中校地グラウンド化について(米中PTA、後援会) 文教

20、本城農免農道開設方について(本城部落、合川町関係部落) 産経

21、米中内部補修について(二〇周年記念実行委員会) 文教

22、給与に関する勧告実施について(全日本自治団体労働組合) 産経

23、町道東ノ又線の整備促進方について(様田部落代表) 建設

「引揚者特別給付金」の請求ができません

この特別交付金は、外地に「生活の本拠」を「一年以上」もっていた者で終戦にともない本邦に引き揚げて来た、左記の該当者に申請により交付されます。

(一)終戦日(昭二〇)以前に終戦日まで引続き一年以上生活の本拠をもっていた者

(二)満州開拓民については外地における生活の本拠が一年未満でも支給されます

(三)引揚者が死亡した場合に二親等以外の遺族に支給されます(配偶者、子、父母、孫)

(四)外地に終戦日(昭二〇)以後引続き一年以上生活の本拠をもっていた者

(五)引揚者の関係で樺太、千島、華北、内蒙、満州、関東州、朝鮮等から昭二十、八、九以後終戦日前に引揚げた人(この場合には昭二十、八、九まで引続き一年以上生活の本拠をもっていた者)

(六)終戦前出張、商用等で本邦に来て、滞在中終戦のため外地へもどれなくなった人(この場合には外地に引揚られた人)

戦争中又は戦前の引揚者

(一)南洋群島(もとの日本委任統治領)に昭十八、十九まで引続き一年以上生活の本拠をもっていた者

(二)南洋群島(もとの日本委任統治領)に昭十八、十九まで引続き一年以上生活の本拠をもっていた者

(三)南洋群島(もとの日本委任統治領)に昭十八、十九まで引続き一年以上生活の本拠をもっていた者

(四)南洋群島(もとの日本委任統治領)に昭十八、十九まで引続き一年以上生活の本拠をもっていた者

(五)南洋群島(もとの日本委任統治領)に昭十八、十九まで引続き一年以上生活の本拠をもっていた者

(六)南洋群島(もとの日本委任統治領)に昭十八、十九まで引続き一年以上生活の本拠をもっていた者

(七)南洋群島(もとの日本委任統治領)に昭十八、十九まで引続き一年以上生活の本拠をもっていた者

(八)南洋群島(もとの日本委任統治領)に昭十八、十九まで引続き一年以上生活の本拠をもっていた者

(九)南洋群島(もとの日本委任統治領)に昭十八、十九まで引続き一年以上生活の本拠をもっていた者

(十)南洋群島(もとの日本委任統治領)に昭十八、十九まで引続き一年以上生活の本拠をもっていた者

職員一部配置替

(カツコ内発令前)

企画室主任 法子

主事 春日

総務課庶務係 幸子

主事 村岡

前田支所 正子

主事 金田

総務課(産休) 圭子

主事 九島

前田支所

出稼ぎは本人も家族も安心できるように

本年も農作業が終了次第出稼ぎに出られる準備をされている人が多いと思われ、昨年も職業安定所や出かせぎ相談所を通さず、縁故就労したため、賃金不払いなど災難にあつて、未だ解決できず手続の方法もなく困っている方もありますので、毎年同じ事業所に

申請用紙、手続

申請用紙及び添付する用紙等は役場窓口(民生係)に用意してあります。ただし引揚者一人一人によってそれぞれ条件が異なりますので、自つと添付書類も異なつて参ります。そのため用紙の受領はできるだけ請求者自身が、係より記載要領等相談した後、受領して下さい。尚くわしくは窓口でおたずね下さい。

公給領収書を受取りましょう

公給領収書とは料理店、キャバレー、バー、飲食店、喫茶店、出前及び仕出店等で飲食した場合(一人一回料金六〇〇円まで免税)や旅館等で(一人一泊二食付一、二〇〇円まで免税、日帰りは六〇〇円まで免税)宿泊又は休養、飲食等については六〇〇円まで免税)宿泊又は飲食した場合に、その料金を飲食等消費税が加算され、「県」が印刷してある受領書に、これらを経営者に交付しているもので、経営者は義務的に公給領収書を消費者に発行することになっております。

山道の遭難事故防止にみんなが心がけよう

いまごろになると、毎年のように「きのこ」の遭難が、あちこちで発生します。特に地形不案内な奥山や、歩きすぎて暗くなつた時などが、原因の多くを占めています。注意してほしいこと。

- 悪天候の子報が出たら山歩きを中止する。
- 日は暖かでも、夜間は急に冷えるので、重ね着の準備を忘れない。
- 山へは二人以上で行くように心がける。
- 寝不足や過労のときは中止する。
- 山の案内がわからないときは、必ず地理のわかる人と一緒に歩く。
- 食糧は二食以上の予備食を携行する。
- マツチ、懐中電灯等の照明具を携行する。
- 老令者や、病氣中の人は、なるべく歩かせない。
- 道に迷ったら、落着いて水の流れの方向に、ゆっくり進み、無理をしないで救助を待つ。
- まよつて道をさがすときは、自分の歩いたところがわかるように、めじるしをつける。

香典返し

一 金二〇、〇〇〇円

弘前市 松崎恵子氏。亡夫徳満氏の忌明けにあたり、一 金一〇、〇〇〇円

小坂町 中村富枝氏。長女千津恵氏の忌明けにあたり、以上町社会福祉協議会受

農業のしおり

今年の稲作は、史上最高の豊作といわれていますが、皆さんの家では如何ですか。この豊作に満足することなく、来年も収量を伸ばすために、出来秋の稲をいまい一度ふりかえてみたいと思いませんか。

◎得長と穂長の関係

◎得長、穂長ともに長い。稲が良好であり、幼穂形成期の栄養状態がよかつたが、幼穂形成期の栄養がよかつた。穂が割れやすい。穂が割れやすい。穂が割れやすい。

◎得長、穂長ともに短い。稲が劣悪であり、幼穂形成期の栄養状態が悪かつたが、幼穂形成期の栄養がよかつた。穂が割れやすい。穂が割れやすい。穂が割れやすい。

◎得長、穂長ともに長い。稲が良好であり、幼穂形成期の栄養状態がよかつたが、幼穂形成期の栄養がよかつた。穂が割れやすい。穂が割れやすい。穂が割れやすい。

◎得長、穂長ともに短い。稲が劣悪であり、幼穂形成期の栄養状態が悪かつたが、幼穂形成期の栄養がよかつた。穂が割れやすい。穂が割れやすい。穂が割れやすい。

県民手帳近日入荷

御注文いただいた県民手帳が、十一月十日頃までに全部入荷いたします。今年度は、申込切後にも注文があり、県への申込数量を超過したために、係では町村へ連絡して確保に

雑音は放送の効果を著しく阻害します

きれいな電波、きれいな放送のスピーカーで、地域では、東北電力大館営業所にあり、雑音の相談に応じています。利用なさる最近家庭における電化製品は、わさわさ大館まで

おわび

今月号が、編集の都合により、大変おわびいたしました。深くおわびいたします。(広報係)

慶弔だより (九月)

出生 おめでとうございませす

春日 悟 (初郎、長男) 新屋布止

白沢 泰子 (賢、長女) 桂 瀬

春日 裕成 (利郎、長男) 五味 堀

春日 義彦 (武彦、長男) 神 成

羽場 栄 (為助、三男) 桐 内

山田 智恵子 (吉雄、四女) 向 椽

石川 久美子 (幸蔵、長女) 羽根 川

加賀 晃 (松蔵、三男) 桂 瀬

白沢 稔 (礼吉、二男) 新 町

金 英則 (達男、長男) 御 嶽

北林 奈美 (慎一、長女) 大 杉

秋元 弘美 (庫雄、長女) 本 城

松岡 恵子 (最、高長女) 大 町

赤石 昭子 (昭男、長女) 新 町

婚姻 このよろこびをいつまでも

(土佐) 藤原 豊 鷹巣町 (田中) 文夫 下前田

(土佐) 佐藤 新一 新屋布止 (三浦) 鉄雄 前田

(足田) トシ 合川町 (斎藤) キヨ 物内

(庄司) 耕一郎 桂川 幸雄 物内

(中島) 洋子 神奈川 幸雄 物内

(三浦) 金夫 新屋布止 (吉田) フヨ 物内

(藤嶋) 福子 細越 (佐藤) 勲三 合川町

(成田) ミキ子 御 嶽 (九島) 愛子 松 栄

死亡 おくやみ申し上げます

土佐 喜市 五八才(金作父) 桐内 沢

庄司 雅子 (賢司長女) 阿仁前田

橋本 進作 (進、長男) 新屋布

森川 為藏 六〇 (孝蔵父) 新屋布

石川 ナツ 五七 (吉五郎妻) 瀬

佐藤 リサ 八〇 (政広母) 瀬

おわび

今月号が、編集の都合により、大変おわびいたしました。深くおわびいたします。(広報係)

おわび

今月号が、編集の都合により、大変おわびいたしました。深くおわびいたします。(広報係)

おわび

今月号が、編集の都合により、大変おわびいたしました。深くおわびいたします。(広報係)